

白鶴美術館 春季展

本館

中国の銅鏡

新館

近代ペルシアの
メダリオン絨毯

2023年
3月4日(土) → 6月4日(日)

休館日 毎週月曜日

開館時間 午前10時～午後4時30分
(入館は午後4時まで)

入館料 大人800円／大学・高校生500円／中学・小学生250円
(上記各団体20名以上2割引／65歳以上500円)

《お問い合わせ先》

〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL / FAX : 078-851-6001

白鶴美術館

<https://www.hakutsuru-museum.org/>

※携帯電話のご利用マナーにご協力ください。

中国の銅鏡

唐時代をピークとする中国の銅鏡。様々な素材と技術を駆使して、描きだされる背面の美しい文様のなかから、今回は鳥・獣に注目してみます。

◎ 鏡のなかの「鳥」文：

鏡に登場する鳥には鴛鴦(おしどり)や鶴、鴨などがいますが、この多くは番(つがい)で表され、また時に綬帯(じゆたい)と呼ばれる紐(くわ)えています。これらは円満や繁栄を象徴する吉祥を示します。また、螺鈿(らでん)を用いた鏡では、鳥の文様が頻出する傾向にあります。鳥文を表す鏡の諸相についてご紹介し、その役割について探求していきます。

◎ 鏡のなかの「獣」文：

鏡の獣文として、龍や麒麟(きりん)、鹿や馬などがみられますが、例えば獅子は、ペルシアなど西アジアで描かれてきたライオンがモチーフとなっています。鬘(たてがみ)を持つ勇壮な姿は、まさに百獣の王。中国において、ライオンはそれまで描かれてきた四脚の獣文にも取り込まれ、多様な姿で表されました。幻獣・神獣として表される獣たちの姿を鏡のなかに見ていきます。



タフリッシュ ペルシア西部
20世紀中期



ナーイーン ツデシク ペルシア中央部
20世紀初期

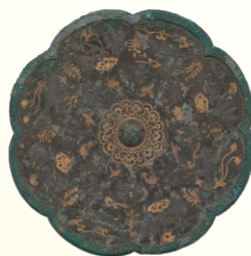
メダリオンは、ペルシア絨毯を象徴するデザインとして知られています。流麗なエスリム(蔓草文)を伴うものは、洗練された宮廷工房の伝統を伺わせますが、他にも幾何学的な文様や、写実味のある花文など、様々な構成がみられます。こうした絨毯を取り上げながら、近代ペルシア絨毯の多様性を見ていきたいと思ひます。



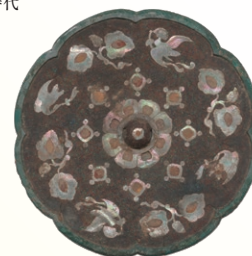
白銅海獣葡萄鏡
唐時代



銀貼鍍金鳥獸華文八稜鏡
唐時代



金銀平脱花枝鳥獸文八花鏡
唐時代



螺鈿鴛鴦宝相華文八花鏡
唐時代

講演会

日時：5月7日(日) 14時～15時30分

「中国青銅鏡の鑑賞
-歴代の造形をたどる-」

講師：
和泉市久保惣記念美術館 副館長 橋詰 文之 氏

文化財特別講座

日時：6月4日(日) 14時～15時30分

「修理現場からのメッセージ
-絵画の修理を中心に-」

講師：
(株)岡墨光堂 代表取締役 岡 岩太郎 氏

アート・トーク

日時：6月3日(土) 14時～15時

「鏡のなかの鳥獣」

講師：当館学芸員

演奏・レクチャー

日時：5月21日(日) 14時～15時

「イラン音楽の愉しみ方
-「廻(めぐり)」の理論から-」

講師：
神戸大学 国際人間科学部 准教授 谷 正人 氏

大学生ワークショップ

日時：4月29日・30日、5月3日・4日・5日
13時30分～15時30分

「クルッと反転! 紙が要のミニ屏風」

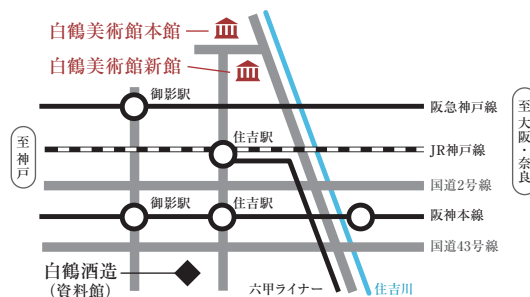
指導員：甲南大学学生ワークショップ指導員

スライド解説

日時：3月18日、4月15日、5月20日 第3土曜
14時～15時

「展示品のみどころ」

講師：当館学芸員



公共交通機関でお越しの場合

- 阪神本線「御影駅」、JR神戸線「住吉駅」から市バス38系統 渦森台行き「白鶴美術館前」下車
- 阪急神戸線「御影駅」から 北東約1km(徒歩15分)

お車でお越しの場合

- 阪神高速道路3号神戸線 大阪方面「魚崎出口」から約1.5km
- 阪神高速道路3号神戸線 姫路/明石方面「摩耶出口」から約6km

※無料駐車場あり(大型バスも可)

- ▶ 団体でのご来館の際には、事前にお電話にてご確認ください。
- ▶ イベントは要入館料、定員40名。状況に応じて中止する場合があります。

次回秋季展は
2023年9月20日(水)から開催予定です

公益財団法人
白鶴美術館
HAKUTSURU FINE ART MUSEUM

【お問い合わせ先】
〒658-0063 神戸市東灘区住吉山手6-1-1
TEL/FAX: 078-851-6001